

2017/2/26

(日々雑感 34)



近頃の女の人たち、一体どうしちゃったんでしょう。

高校生以上、50歳代ぐらいまでのひと。さすがに中学生以下はありませんが。

とにかく、絶対に道を譲らないんです。どンドン、ドンドン突っ込んできます。まだしも男の人の方が道を空けてくれます。

スマホなどを見ていて気づかないのならまだしも分かりますが、見ながら歩いているわけではないのです。むしろ見ながら歩いている人の方が、却ってはっとするのか、避けてくれます。

考え事をしていて、側溝へ足を踏み外し、左足をくじいてから、いささかびっこをひいているのですが、相手からはこちらの様子が見えているはずなのにぜんぜん避けてもらえません。ほぼ100%避けてもらえないので、ほぼ100%避ける羽目になります。迂回する分こちらの歩く距離が延びます。ひどいときは一日20キロ以上も歩かざるを得ない生活なので、すれ違うことが多い日は、結構ボディーブローのように利いてきます。

これなどは、まだ事故にならないから良いのですが、危ない目に遭うこともあります。

自転車です。

とにかく、若いお母さん方は、後ろのチャイルドシートに子供を乗せていないときは、後ろから思いっきりの猛スピードで同じ歩道を歩いているぼくを追い抜いていきます。ぎりぎりのところを、減速徐行を全くせずに、接近前にベルを鳴らすこともしません。まるで、昼にも関わらずひったくりをするのが目的の深夜の怪しい人みたいな不気味さです。ぼくらは小学校の時に、交通教室で、みんなと一緒に校庭に集められて、近くの警察署のおまわりさんから自転車の乗り方や追い越し方などを実地訓練で教わりましたが、最近の若いお母さん方は自分が小学校の頃、教わらなかったんでしょうか？

ぼくなどびっこをひいているとは言え、まだしも避けることが出来ますが、杖をついたじいさんばあさんは避けられっこありません。いくら自転車とはいえ、じいさんばあさんが死ぬようなことがあったら、そのお母さんは、完全に交通刑務所行き状態です。

車生活が多くなりすぎて、自転車を甘く見ているんじゃないでしょうか？

じいさんばあさんは車道なんかを減多に歩いたりはしないので、事故が起こるとしたらむしろ歩道の方が多んじゃないでしょうか？

一体何を考えているんでしょう？

資格やお免状をいくら持っていたとしても、この「お人柄」では・・・。

そう言えば、たったひとり若いお母さんで、追い抜くときに、ベルを鳴らした上、減速徐行をして、追い越すときに「すみません」と言った方がいらっしゃいました。空のチャイルドシートがついていたので、小さなお子さんがいらっしゃることが読み取れました。

あまり、身なりの言い方ではありませんでしたが「いいお人柄のお母さんだなぁ」と思い、少し嬉しくなった次第です。

なんだか、世の中、少しおかしくなっているような気がしないでもない昨今です。でも、全員ではないようなのがまだしも救いではあるのですが。